

一般廃棄物処理実態等調査の実施状況について

1 ごみ排出実態調査（生活ごみ、事業ごみ）

(1) 実施期間 11月7日（木）～28日（木）

(2) 実施場所 若林環境事業所

(3) 調査概要

生活ごみ及び事業ごみを排出場所から直接収集・開封し、60品目に分類・計量を行い、内容物の組成を分析する。

【生活ごみ】

① 対象地区

- | | |
|--------------------|-----|
| ・「戸建が多い地区」 | 4地区 |
| ・「マンション・アパートが多い地区」 | 2地区 |
| ・「市中心部・店舗が混在する地区」 | 2地区 |
| ・「市郊外地区」 | 2地区 |

② 1地区あたりの試料数

- | | |
|---------------|--------------------|
| ・家庭ごみ | 約100kg（大袋20袋程度） |
| ・プラスチック製容器包装 | 約20kg（大袋20袋程度） |
| ・缶・びん・ペットボトル等 | 約100kg（P箱20～30箱程度） |
| ・雑がみ | 約20kg（紙袋20袋程度） |

【事業ごみ（可燃ごみ）】

① 対象事業所（業種）

- | | | | |
|------------|---|------------|----|
| ・飲食店 | 4 | ・オフィスビル | 11 |
| ・ホテル・旅館 | 2 | ・学校等 | 3 |
| ・小売業（食品） | 2 | ・スーパー・デパート | 3 |
| ・小売業（食品以外） | 6 | ・病院 | 3 |
| ・製造業 | 2 | 計 | 36 |

② 1業種あたりの試料数

100kg（例）飲食店の場合、1事業所25kg

2 アンケート調査

(1) 生活ごみ排出行動調査

市政モニター制度（市民局広聴統計課）を活用、200名を対象に10月17日（木）～31日（木）の期間で出したごみ量の記録から市民のごみ排出行動等について分析する。

(2) ごみに関する意識調査

ごみ減量・リサイクル推進に関する市民・事業者の取り組み状況や意向等を聞くほか、広く多様な意見を頂くことを目的に自由記載欄を設けている。（11月6日（水）発送、11月29日（金）締切）

① 市民調査

住基台帳（令和元年10月1日現在）から18歳以上の世帯主から無作為で3,000世帯を抽出した。

② 事業者調査

市内に事業所を有する3,500事業所（うち、大規模建築物所有者・多量排出事業者300事業所）を無作為に抽出した。

3 今後のスケジュール

12月～2月 組成分析・アンケート調査の分析

3月 令和元年度第3回仙台市廃棄物対策審議会（調査結果報告）